

bethel hospice letter spring&summer

ホスピスだより

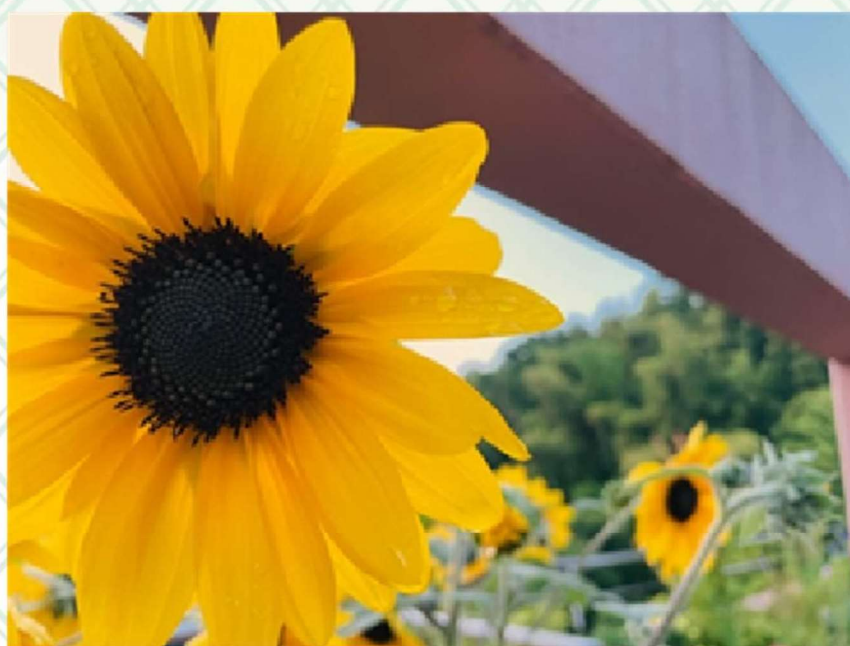
tender loving care vol.33

松山ベテル病院 ホスピス病棟
〒790-0833

松山市祝谷6丁目1229番地

TEL 089(925)5000

FAX 089(925)5599



医療法人 聖愛会

松山ベテル病院

www.bethel.or.jp



今年も満開！ベテルの桜特集

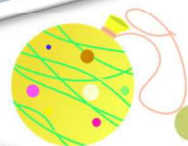
春の訪れと共に、今年も桜の花がベテル病院を優しく包み込みました。桜の花は美しく、希望と癒しの象徴とされ、見る者に安らぎを与えるとされています。特にホスピス病棟での存在感は大きいです。桜を通じて、患者さまやそのご家族が安らぎを感じ、思い出深い時間を共有できる場となり、今年も心の交流と癒しのひとときを共に過ごせたと感じています。



今年もやいます！夏祭り！

今年ホスピス病棟夏祭りは、患者さま、ご家族、スタッフが一堂に会し、心温まるひとときを共有する素晴らしいイベントとなりました。多くの方々にご参加いただき、賑やかな雰囲気の中でさまざまなアクティビティを楽しんでいただきました。

去年はコロナ感染の拡大に伴い、小規模での開催でしたが、今年は、病棟の天井は手作りの提灯で飾り付けを行い、デイルームにヨーヨー釣りや、輪投げ、射的といった屋台を設置し、患者さまやご家族も一緒になって楽しむ姿が見受けられました。病棟全体で一丸となって夏祭りを開催することができ、一夏の良い思い出となりました。



新任医師の紹介

昨年10月より松山ベテル病院に勤務している阿部 康範です。ホームページの自己紹介に『趣味:アニメ鑑賞・研究』と掲載していますが、「研究って…」と思われる方も多いかもかもしれません。現在、私は、中橋院長を始めとするスタッフの皆様のご高配と家族の助けを受けて、株式会社 WalkableFuture (<https://www.walkable-future.com>) で研究活動を行っています。

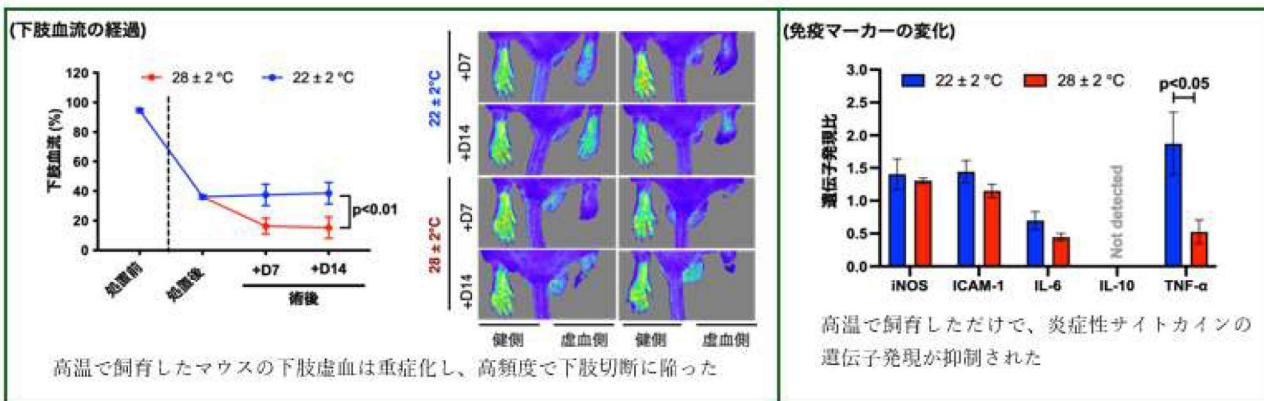
せっかくの機会ですので、先日 Journal of Molecular and Cellular Cardiology という科学雑誌に受理された論文を紹介させていただきます。



“Room temperature is a key factor for modeling human lower extremity artery disease with surgical murine hind limb ischemia. (J Mol Cell Cardiol. 2024 Jun 5; 193:88-90.)”

この論文は、下肢虚血モデルマウスにおいて、高温 ($28 \pm 2^\circ\text{C}$) で飼育した場合、常温 ($22 \pm 2^\circ\text{C}$) で飼育した場合に比べて、下肢虚血が重症化するという内容です。通常、動物実験は結果の再現性を担保するため、飼育環境(昼夜サイクル、湿度、温度など)を均一にします。温度は通常、 $22 \pm 2^\circ\text{C}$ で管理することが暗黙の了解となっていますが、本研究は、不慮のために飼育室の温度管理ができておらず、室温が高温 ($28 \pm 2^\circ\text{C}$) になっていた際、いつもと違う実験結果が得られたことがきっかけで始まりました。遺伝子解析を行った結果、高温で飼育するだけで免疫機能が変化していることが分かり、どうやらこの変化が下肢虚血の重症度に影響を及ぼしているのではないかと考えられました。

2020年頃より、このように温度による影響を研究した題材が、基礎実験のみならず実臨床においても、ちょっとしたトピックになっているようです。我々の日常生活でも、季節の変わり目や突然の熱波などで体調を崩すことがあります。私の発見は極々一部のメカニズムを明らかにしただけにすぎませんが、今まで直感的に感じてきた現象を説明する科学的根拠が見出されてきている昨今の科学技術の発展には、我ながら驚かされます。

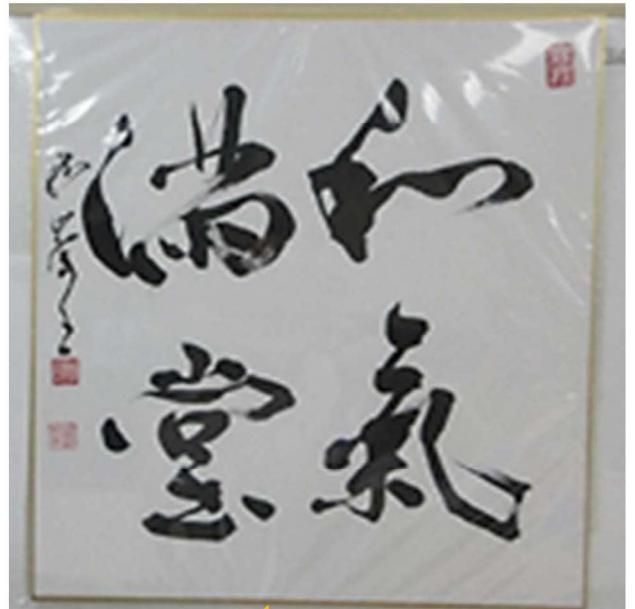


【温度による影響】

患者さま作品介绍

今回ご紹介するのは、書道家の林啓司様です。

林様は、療養中ホスピス病棟内で書道パフォーマンスを行ったり、色紙に様々な言葉を書き記して下さいました。これらの作品は、林様の感情や思いを形にしたものであり、その作品からは深い内面の豊かさが伺えます。ホスピス病棟全員が林様の作品を通じて、感動と共に、勇気や希望をもらいました。



「和やかな雰囲気満ちている様子」
私たちも和やかさが満ちるように
したいと思い、詰所に飾っています。

ボランティア募集について

病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださる方、こもれびの森のお手伝いをしてくださる方、チャペルでのレクリエーションにご協力くださる方等々。

※心身ともに健康な方で、定期的・継続的に活動いただける方の問い合わせをお待ちしております。

ボランティア委員会 担当: 森
TEL: (089) 925-5000
FAX: (089) 925-5599
E-mail: volunteer@bethel.or.jp

ホスピス献金のお願い

ホスピス献金は、ホスピス病棟の援助など、聖愛会の諸活動の援助のために聖愛会に寄付としていただいております。

皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

★現金送金★

〒790-0833 松山市祝谷 6 丁目 1229 番地
松山ベテル後援会 (松山ベテル病院内)

★郵便振替口座★

口座番号: 01610-2-25364

名義: 松山ベテル後援会

※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。

編集後記

今回もホスピスだよりをご覧いただき、誠にありがとうございます。

この半年は患者さまとご家族、そして私たちスタッフにとって深い感動と学びの連続でした。患者さまの笑顔や、患者さまが作品を通じて表現する力強い思いは、私たちにとって大きな勇気となりました。

病气や苦痛に直面する時、私たちは皆さまに寄り添い、最善のケアを提供することが使命であると確信しています。その一方で、ホスピス病棟はただ治療や看護を行う場ではなく、その方の尊厳と生命の尊さを深く理解する場でもあります。

この広報文を通じて、ホスピス病棟での日々の一部を少しでもお伝えできれば幸いです。これからも、病棟の様子を発信していきますので、よろしく願いいたします。

担当: 山崎・中矢

掲載している患者さま・利用者さまおよびご家族の写真は、事前に掲載の承諾を得ています。